

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

<噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)が継続>
秋田駒ヶ岳では、本日(19日)02時から04時にかけて火山性地震を14回観測しました。
火山性微動は観測されず、地殻変動や、噴気には特段の変化はみられず、火山活動の高まりは認められません。
女岳^{めだけ}の山頂付近では、地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。
噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)の予報事項に変更はありません。

活動概況

・地震や微動の発生状況(図1~3、図4-)

秋田駒ヶ岳では、本日(19日)02時から04時にかけて火山性地震が一時的に増加し、14回観測しました。日別地震回数が10回を超えたのは2016年3月13日(24回)以来です。秋田駒ヶ岳では、時折火山性地震が一時的に増加することがあります。

震源は、女岳の北東約5km付近の深さ2~3kmで、最大の規模の地震は02時57分の地震でマグニチュード¹⁾2.3(暫定値)でした。震度観測点で震度1以上を観測した地点はありませんでしたが、地元への聞き取り調査によると体に感じる揺れがあったということです。

04時以降、火山性地震は観測されていません。

火山性微動は観測されていません。

・噴気など表面現象の状況(図4- 、図5)

東北地方整備局が設置している監視カメラによる観測では、女岳からの噴気は観測されていません。

・地殻変動の状況

火山活動によると考えられる変化は認められていません。

1) マグニチュード(M)は地震の規模を示します。資料中の値は暫定値で、後日変更することがあります。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>)や、気象庁ホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」を使用しています(承認番号 平26情使、第578号)。

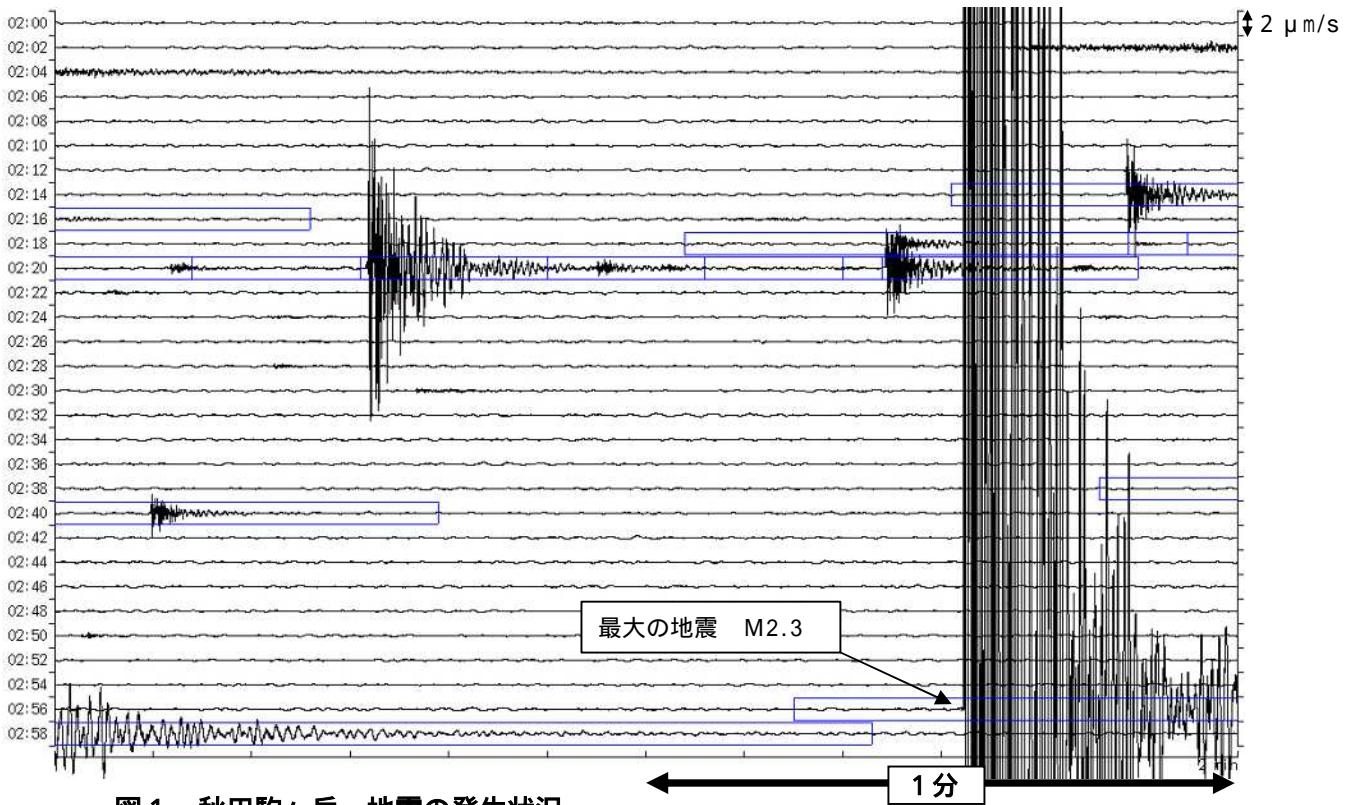


図1 秋田駒ヶ岳 地震の発生状況
(八合目駐車場 上下動 : 2016 年 10 月 19 日 02 時 00 分 ~ 03 時 00 分)
・ 青い四角で囲んだ部分が、秋田駒ヶ岳の火山性地震です。

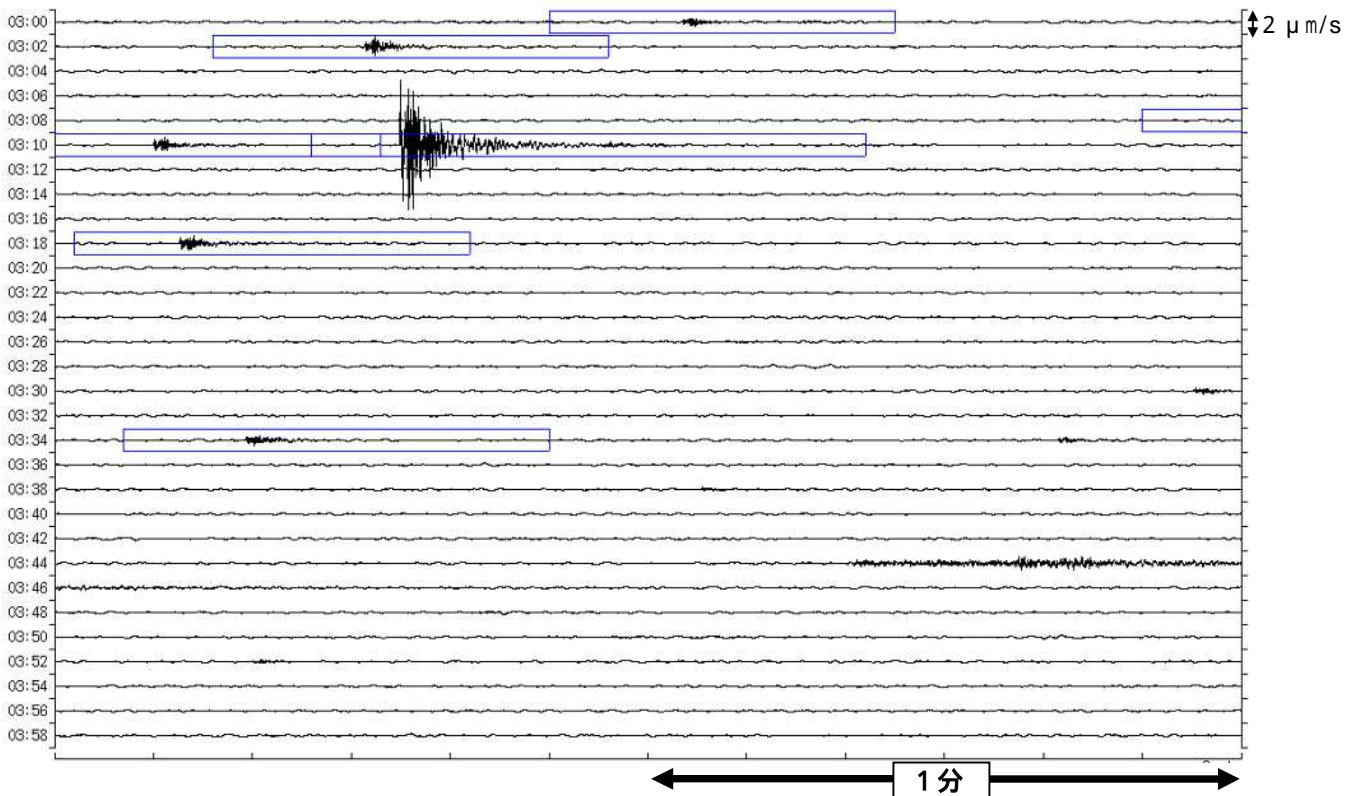
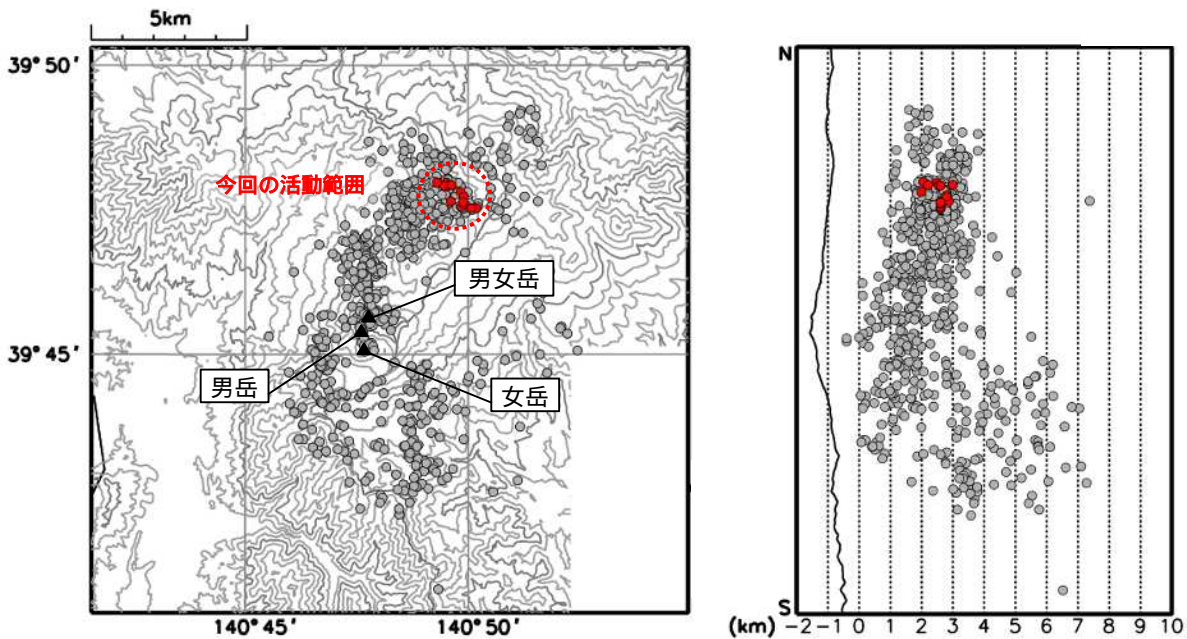


図2 秋田駒ヶ岳 地震の発生状況
(八合目駐車場 上下動 : 2016 年 10 月 19 日 03 時 00 分 ~ 04 時 00 分)
・ 青い四角で囲んだ部分が、秋田駒ヶ岳の火山性地震です。



: 2016 年 10 月 19 日 : 2003 年 8 月 1 日 ~ 2016 年 10 月 18 日

図 3 秋田駒ヶ岳 地震活動 (2003 年 8 月 ~ 2016 年 10 月 19 日 14 時)
・女岳の北東約 5 km の領域 (赤破線領域) で地震活動がみられました。

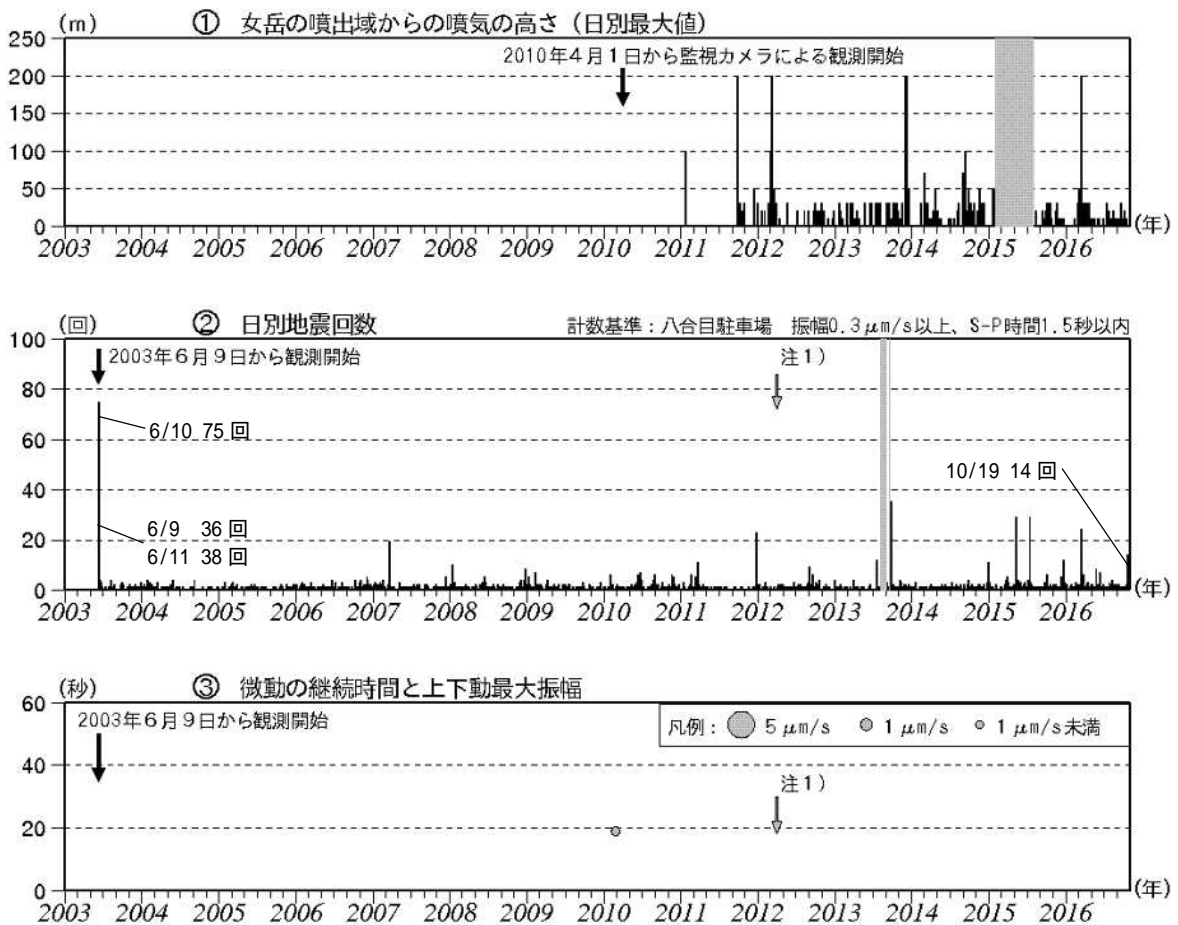


図 4 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図 (2003 年 6 月 ~ 2016 年 10 月 19 日 14 時)

- ・仙岩峠 (女岳山頂の南約 5 km) に設置されている監視カメラ (東北地方整備局) による観測です。
- 注 1) 観測開始の 2003 年 6 月 9 日から東北大学秋田駒ヶ岳観測点を基準としていましたが、2012 年 4 月 1 日から八合目駐車場を基準としています。
- ・の灰色部分は欠測を表しています。
- ・値は速報値を含んでおり、精査後修正する場合があります。



図5 秋田駒ヶ岳 女岳周辺の噴気の状態(10月19日09時00分頃)

- ・仙岩峠(女岳山頂の南約5km)に設置されている監視カメラ(東北地方整備局)による映像です。
- ・噴気は観測されていません。

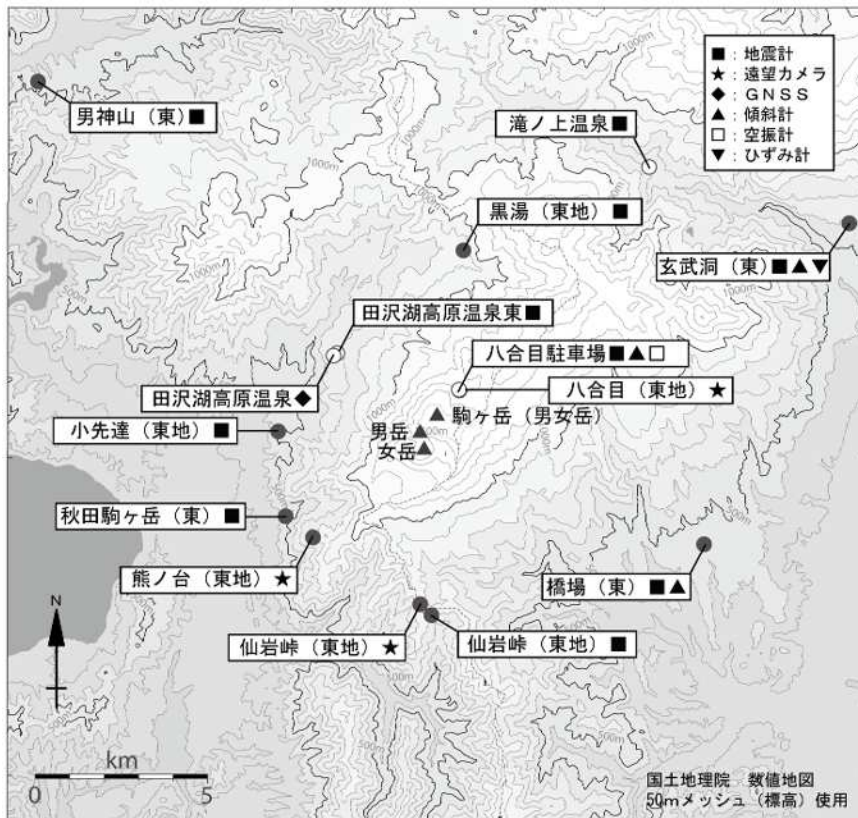


図6 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸()は気象庁、小さな黒丸()は気象庁以外の機関の観測点の位置を示しています。
(東)：東北大学 (東地)：東北地方整備局